

「SDGs貢献ソリューション」の概要

当社グループは、手のひら静脈認証やRFIDタグ（リネンタグ）、ビーコンなどの先進技術を有したハードとソフトを組み合わせたソリューションを開発・提供し、金融・流通・公共・医療・物流・モビリティなどの市場においてお客様の多種多様なニーズ・期待に応え、金融機関や病院、商業施設など世の中の様々な場面をサポートしています。

SDGs貢献ソリューションは、SDGsで注目される気候変動などの環境問題への貢献のほか、社会・経済の持続可能な発展にも貢献するために当社グループが開発したソリューションです。社内で当ソリューションの適合基準などを運用ガイドラインに定めて制度化し、活動を推進しています。

SDGs貢献ソリューションの概要ページ：

<https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/about/sustainability/environment/sdgs/>

2020年度「SDGs貢献ソリューション」の実績

2020年度は、以下7件のSDGs貢献ソリューションを開発・提供することができました。

【2020年度のSDGs貢献ソリューション】

項	ソリューション 名称	環境改善率*
①	精査情報の電子管理	-98.8%
②	電話番号変更取引	-59.0%
③	モバイル印鑑照会・照合システム	-49.5%
④	RFID入店人数管理システム	-41.7%
⑤	金種指定出金取引システム	-24.7%
⑥	系統イントラネット更改	-20.4%
⑦	検証ソリューション「WEB評価ツール」	-20.0%

*環境改善率：

ソリューション導入前後の人・物の移動量、作業工数、機器の消費電力などに由来するCO₂排出量を比較し、導入前を基準に導入後に減少した割合を表す。

SDGs貢献ソリューションのご紹介ページ：

<https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/solutions/csr/sdgs/index.html>

「SDGs貢献ソリューション」の事例紹介

精査情報の電子管理

■ システム概要

従来、小売店はお店の売り上げ情報を精査情報としてレシートへ印字を行い、精査情報の管理台帳を作成していました。そのために、定期的にトラックでレシートや報告書などの紙媒体の輸送を行っていました。

当システムは、端末等で精査情報を参照・管理することができるため、精査情報のレシート印字が不要になり、物の消費量と物の移動量の削減につながります。また、温暖化対策としてのCO₂排出量も削減することができます。

■ 導入前・導入後のイメージ

従来の運用に比べて以下のように削減が見込めます。

- ① 物の消費量の削減
- ② 物の移動量の削減



SDGsに貢献する要素

Goal 12：製品ライフサイクルを通じ、人の健康や環境への悪影響を最小化するため廃棄物を削減する。

Goal 13：ICT導入による生産性向上、業務改善等によりお客様におけるCO₂排出量を削減する。